

## 高知県における平成22年2月分の電力需給状況

### <需 要>

- ・ 販売電力量計では、3億8千5百万和ワット時、対前年比102.1%となった。

(表 - 1, 図 - 1)

(表 - 1) 需要実績

[百万kWh, %]

		高 知 県				全 社 計			
		当 月		累 計		当 月		累 計	
		電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	173	102.7	1,651	98.9	940	102.4	8,642	98.9
	電 力	37	100.7	368	97.0	168	99.1	1,723	95.8
	計	210	102.4	2,019	98.5	1,108	101.9	10,365	98.4
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	88	103.0	1,100	99.0	484	102.0	5,840	98.9
	産業用電力	87	100.4	1,034	91.3	779	104.5	8,969	89.5
	(再掲)大口電力	( 57)	(99.7)	( 673)	(88.5)	( 610)	(105.7)	( 6,925)	(88.2)
	特定規模計	175	101.7	2,134	95.1	1,263	103.5	14,809	93.0
販売電力量計		385	102.1	4,153	96.8	2,371	102.8	25,174	95.1

(注1)特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。

(表 - 2) 大口の産業別内訳

[百万kWh, %]

	当 月		累 計	
	電力量	前年比	電力量	前年比
機 械	20.8	76.3	275.7	88.5
化 学	9.8	126.7	100.4	80.2
紙・パルプ	10.1	144.4	111.9	101.1
鋳 業	2.9	114.8	30.8	90.2
織 維	1.3	87.7	14.1	67.5
鉄 鋼	2.8	110.2	28.3	85.8
そ の 他	9.3	107.7	112.4	89.6
計	57.0	99.7	673.6	88.5

### [需要の内訳]

- ・ 家庭用などの「電灯」は、2月上中旬の気温が低めに推移し、暖房需要が増加したことなどから、対前年比102.7%となった。

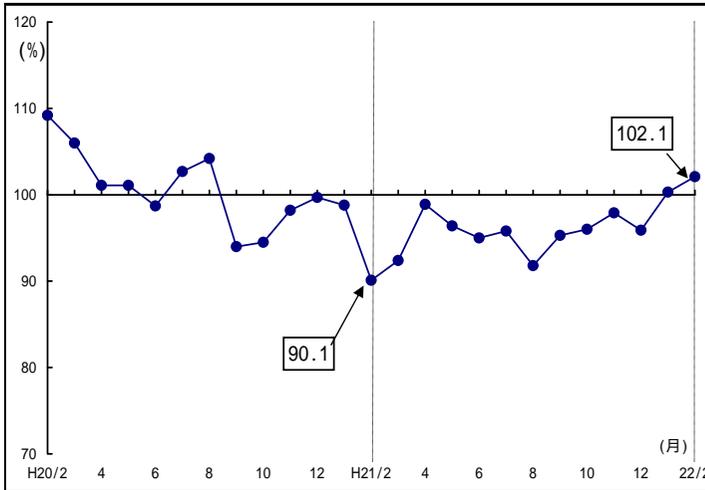
(表 - 1)

- ・ 事務所ビル・大型商店などの「業務用」については、「電灯」と同様の気温要因などから、対前年比103.0%となった。

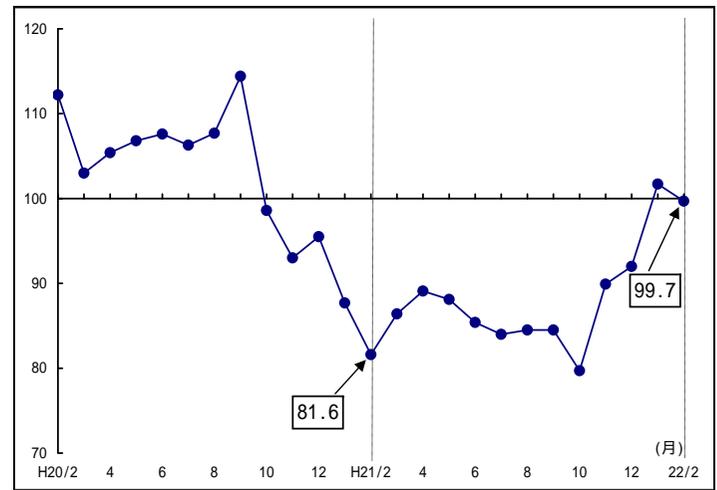
- ・ 産業用の「大口電力」は、機械、繊維が前年を下回ったことから、対前年比99.7%となった。

(表 - 2, 図 - 2)

(図 - 1) 販売電力量計の対前年比の推移



(図 - 2) 大口電力の対前年比の推移



### <供 給>

- ・ 月平均の全社自流式出水率は、120.9%。

- ・ 月末の全社貯水池保有量は、1億2千万和ワット時で満水比48.9%。

### <参考> 高知市内の平均気温

( )

	1 月				2 月			
	上旬	中旬	下旬	平均	上旬	中旬	下旬	平均
実 績	5.4	6.0	7.9	6.5	7.7	8.3	14.4	9.8
平年差	1.3	0.1	2.3	0.4	1.8	0.9	6.8	2.9
前年差	2.0	0.7	0.2	0.3	1.4	2.2	3.4	0.3